



0テレ  
2022年度  
第3四半期  
決算説明資料

日本テレビホールディングス

2022年度第3四半期  
決算説明資料

0テレホールディングス

# 決算概況



本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

0テレホールディングス

## 第3四半期のポイント

## ■増収減益

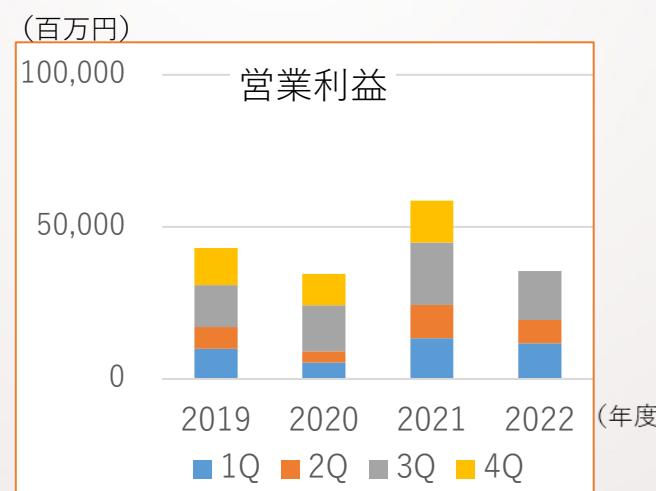
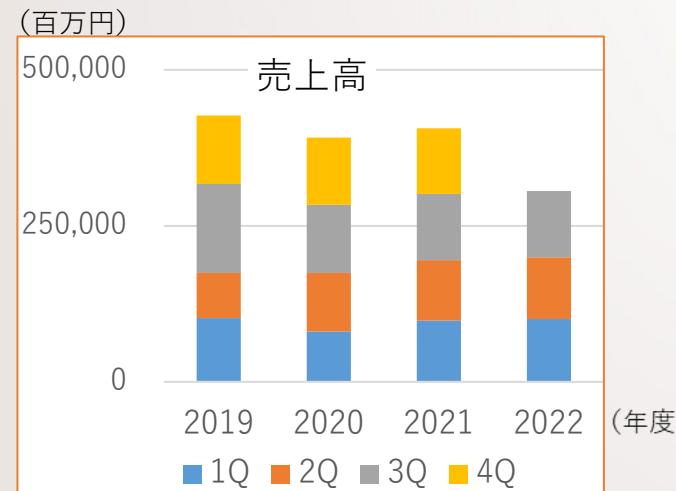
- ・日本テレビ放送網は、12年連続で個人視聴率3冠維持 (民放比較)  
スポットシェアは、10月～各月の歴代最高更新中
- ・マクロ経済影響もありテレビ放送収入は減少も  
デジタル広告、配信、IP等のコンテンツ・ビジネスは堅調に推移
- ・ティップネスの増収・赤字幅縮小、ACMの大幅な業績改善、  
ムラヤマの連結子会社化による増収等が、放送収入の減を上回る
- ・利益面は、主に放送事業収支の減少により減益

## 日本テレビホールディングス：連結決算概況

- 新たな連結対象となったムラヤマが売上に貢献
- 原材料高の広告市況への影響等により地上波テレビ広告は減収

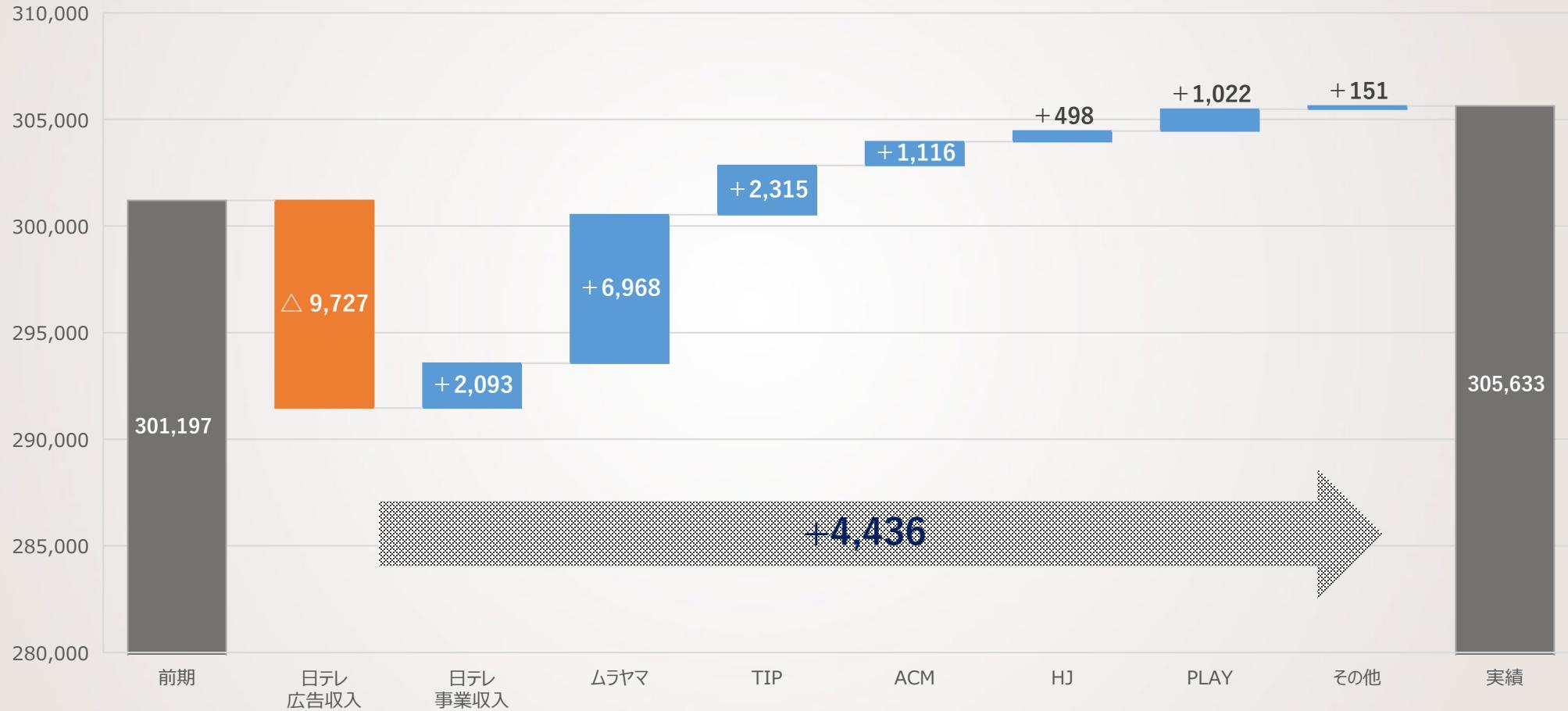
(単位：百万円)

	2021年度 4-12月	2022年度 4-12月	前年差	増減率
売上高	301,197	<b>305,633</b>	4,436	1.5%
営業利益	44,835	<b>35,490</b>	△9,344	△20.8%
経常利益	50,175	<b>39,092</b>	△11,083	△22.1%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	38,872	<b>27,114</b>	△11,757	△30.2%



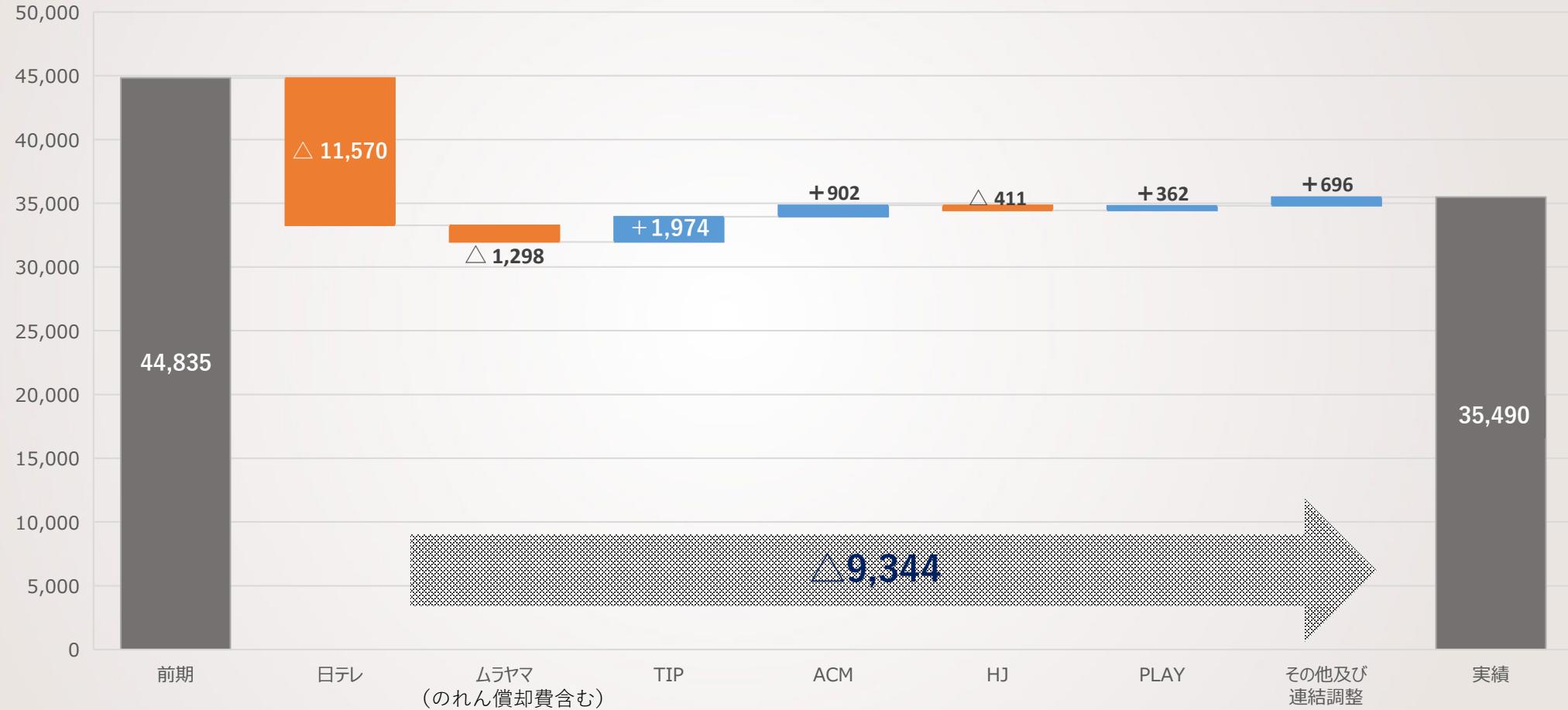
## 売上高の前年同期増減分析

(単位：百万円)



## 営業利益の前年同期増減分析

(単位：百万円)



## 日本テレビ放送網：決算概況

- 3Q（4月-12月）は減収減益
- 地上波テレビ広告収入のマイナスが影響
- TVer等のデジタル広告収入は増加
- 映画、IPビジネス、アニメなどが利益にプラス貢献
- 営業費用は番組制作やイベント開催での反動増があった

(単位：百万円)

	2021年度 4-12月	2022年度 4-12月	前年差	増減率
売上高	223,469	<b>215,982</b>	△7,486	△3.4%
営業利益	38,279	<b>26,709</b>	△11,570	△30.2%
経常利益	41,156	<b>31,298</b>	△9,858	△24.0%
四半期純利益	33,982	<b>22,539</b>	△11,442	△33.7%

## 主なグループ会社の状況

■ 連結決算への影響が大きい、日本テレビ放送網以外のグループ会社

※単位：百万円（%は前年同期比）

	BS日本		CS日本		日本テレビ音楽		バップ		ティップネス	
売上高	12,274	0.7%	7,143	△2.4%	6,363	16.8%	5,153	△3.8%	19,559	13.4%
営業利益	1,520	△11.7%	213	△53.1%	1,577	12.8%	989	△1.5%	△138	—
経常利益	1,551	△11.5%	219	△52.3%	1,605	13.6%	1,016	△8.2%	△355	—
四半期純利益	1,060	△12.6%	151	△52.3%	1,051	13.5%	1,209	26.4%	△369	—
	ムラヤマ		タツノコプロ		HJ ホールディングス		ACM		PLAY	
売上高	6,968	—	2,070	89.5%	24,883	1.7%	3,270	52.1%	6,136	23.4%
営業利益	△511	—	195	7,538.6%	701	△37.0%	640	—	1,415	34.5%
経常利益	△463	—	203	4,428.5%	703	△36.7%	673	—	1,388	31.9%
四半期純利益	△465	—	131	18,837.5%	699	△34.4%	660	—	845	32.1%

※新規連結、前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は(−)表記しています。

## 日本テレビ放送網：営業収支詳細

(単位：百万円)

## 営業収支

営業収入	2021年度 4-12月	2022年度 4-12月	前年差	増減率
広告収入	184,739	<b>175,011</b>	△9,728	△5.3%
番組販売収入	8,142	<b>8,290</b>	148	1.8%
事業収入	28,823	<b>30,916</b>	2,093	7.3%
不動産賃貸収入	1,763	<b>1,763</b>	0	0.0%
合計	223,469	<b>215,982</b>	△7,486	△3.4%
営業費用	2021年度 4-12月	2022年度 4-12月	前年差	増減率
番組制作費	61,864	<b>65,166</b>	3,302	5.3%
人件費	16,353	<b>17,468</b>	1,114	6.8%
減価償却費	7,925	<b>6,934</b>	△990	△12.5%
事業費	24,896	<b>27,754</b>	2,857	11.5%
その他	74,151	<b>71,951</b>	△2,200	△3.0%
合計	185,189	<b>189,273</b>	4,083	2.2%

## 日本テレビ放送網：広告収入詳細

## 広告収入

(単位：百万円)	2021年度4-12月	2022年度 4 -12月	前年差	増減率
広告収入	184,739	<b>175,011</b>	△9,728	△5.3%
タイム	89,680	<b>82,682</b>	△6,998	△7.8%
スポット	91,892	<b>88,737</b>	△3,154	△3.4%
デジタル広告	3,167	<b>3,592</b>	424	13.4%

## 2022年度 広告収入 前年同月比

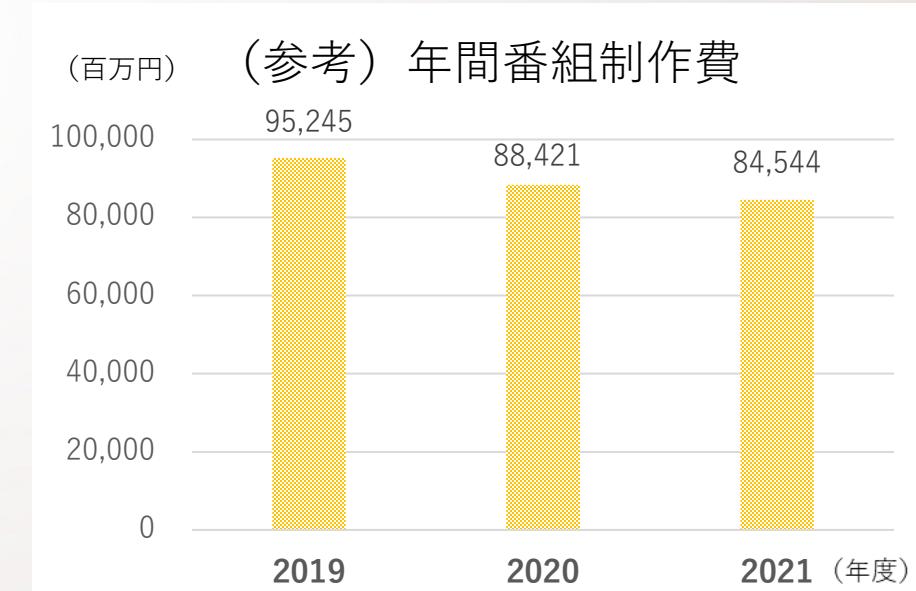
\*2022年度よりTVer等による「デジタル広告」欄を追加

タイム	増減率	スポット	増減率	デジタル広告	増減率
4月	△3.3%	4月	△2.9%	4月	49.8%
5月	△5.0%	5月	△3.5%	5月	8.2%
6月	△6.4%	6月	△17.6%	6月	15.1%
7月	△6.9%	7月	9.0%	7月	80.2%
8月	△21.2%	8月	12.5%	8月	39.5%
9月	△6.0%	9月	△10.2%	9月	11.7%
10月	△2.9%	10月	△2.1%	10月	7.0%
11月	△8.7%	11月	△5.3%	11月	△6.9%
12月	△6.4%	12月	△4.3%	12月	△8.3%

## 日本テレビ放送網：番組制作費

(単位：百万円)

2021年度 4-12月	2022年度 4-12月	前年差	増減率
61,864	<b>65,166</b>	3,302	5.3%



## 日本テレビ放送網：主な事業収支

(単位：百万円)

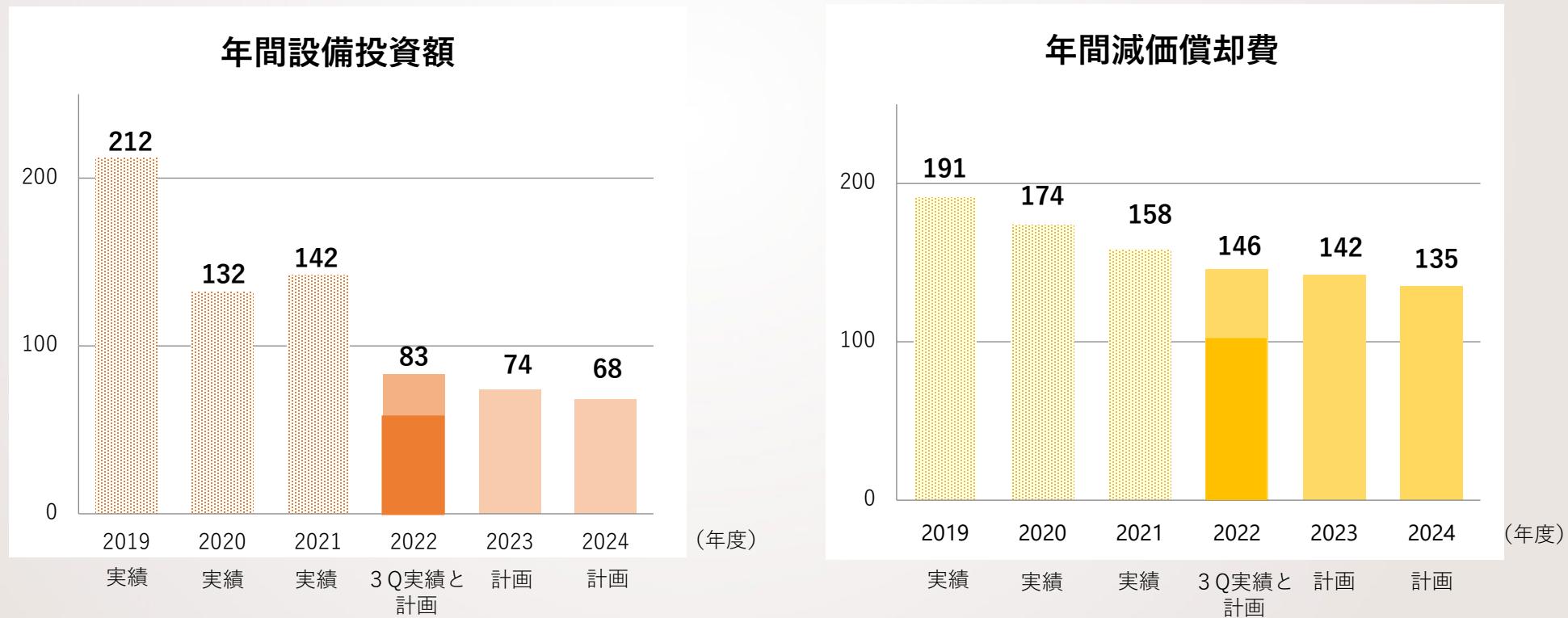
	収入		収支		特筆点
	2022年度 4-12月	増減率	2022年度 4-12月	増減率	
映画	2,912	△7.9%	1,475	△12.3%	今期公開：「名探偵コナン ハロウィンの花嫁」「キングダム2」「転生したらスライムだった件」「極主夫道 ザ・シネマ」他
イベント	2,986	55.4%	196	244.3%	主な催事：「BiSHプロジェクト2022-2023」「舞台トトロ(英国)」「ミュージカル アニー」「スタジオジブリ展覧会2022」他
通販	6,654	△7.1%	382	△26.4%	コロナの巣ごもり反動で売れ行きが鈍化。外部モールでのネット販売は堅調に推移
アニメ	2,701	△9.0%	1,373	2.0%	今期新作：「トモダチゲーム」「シャインポスト」「惑星のさみだれ」「アンパンマン」「HUNTER×HUNTER」等旧作の商品化権収入が好調
海外番販 (除アニメ)	1,239	11.4%	516	△42.5%	「金田一少年の事件簿」の地上波、海外同時展開が話題になるなど、ドラマ販売が好調。新規コンテンツ開発費計上により収支は前期比マイナス
IPビジネス	2,636	128.2%	351	15.3%	BE:FIRST TVのHuluオリジナル配信など、BE:FIRST関連が好調。乃木坂、AKB48関連収入も好調
コンテンツビジネス	1,054	4.0%	565	9.0%	地上波放送番組の二次利用(ビデオパッケージ、出版、商品化、フッテージ、BS・CS番組等)が堅調

\*2021年度より、海外へのアニメ販売分はそれまでの「海外」から「アニメ」に計上を変更しています。

## 設備投資と減価償却

## ■ 3Qに大きな設備投資はなし

( )は前年比	設備投資額	減価償却費
2022年度 4-12月	67億円	102億円



## 連結業績及び配当予想

■ 今回業績予想の変更はありません

(単位：百万円)	5月時点開示予想	11月時点開示予想	増減	増減率
売上高	435,000	415,000	△20,000	△4.6%
営業利益	50,000	43,000	△7,000	△14.0%
経常利益	55,000	48,000	△7,000	△12.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	40,000	33,000	△7,000	△17.5%

## 配当予想

(単位：円)	第2 四半期末	期末	合計
2021年度	10	27	37
2022年度	10	27	37

## 2022年度 日本テレビ地上波広告収入の見込み（前期比）

	11月時点予想
タイム	△7.8%
スポット	△2.6%

# コンテンツ戦略



## 2023年4月期改編について

**23年4月期改編のテーマ  
「平日朝帯の大改革」  
「視聴エンゲージメント強化の継続」**



**平日朝帯の大改革**

- ① 「ZIP!」の放送時間を1時間拡大し5:50～9:00に。  
新出演者、新コーナーでさらにパワーアップ！
- ② 朝9時から新番組「DayDay.」を放送（月～金）  
エンタメや話題の情報、注目ニュースまで  
おしゃべり感覚で見られるエンタメトークショー！

**視聴エンゲージメント強化の継続**

前例のないPR改革などによりGP帯番組をさらに話題化



## 2023年 地上波編成について

**開局70年記念大型特番**

日本テレビ開局70年を飾るにふさわしい大型特番を23年春以降にラインナップ。順次、発表。3月には同じく放送開始70年となるNHKとの“コラボウィーク”を展開。

**今年は“Wワールドカップ”イヤー**

8月にバスケットボール、9月にラグビーのそれぞれワールドカップが開幕！最大限に伝えます。

## 2022年個人全体視聴率

2022/01/03(月)～2023/1/1(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全日	① 3.7	② 3.6	③ 2.8	⑤ 1.3	④ 2.6	20.1
6時～24時	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.2	▲0.3	▲2.0
プライム	① 5.5	① 5.5	③ 4.1	⑤ 2.9	④ 3.9	31.1
19時～23時	▲0.4	▲0.4	▲0.6	▲0.3	▲0.6	▲2.9
ゴールデン	① 5.9	② 5.5	③ 4.2	⑤ 3.3	④ 4.0	33.1
19時～22時	▲0.3	▲0.3	▲0.5	▲0.3	▲0.6	▲3.1
ノンプライム	① 3.2	② 3.1	③ 2.4	⑤ 0.8	④ 2.2	17.0
全日－プライム	▲0.3	▲0.2	▲0.2	▲0.2	▲0.3	▲1.6
プラチナ	① 2.8	② 2.0	③ 1.8	⑤ 0.8	④ 1.8	12.2
23時～25時	▲0.3	▲0.2	▲0.2	▲0.2	▲0.1	▲1.1

左からデジタルチャンネル順／個人視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ／下段は前年との差・比較期間2021/1/4(月)～2022/1/2(日)

■日本テレビは12年連続「個人3冠」を獲得

■52週中30週で「個人3冠」

## 2022年コアターゲット視聴率

2022/1/3(月)～2023/1/1(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全日	① <b>2.9</b>	④ 1.5	③ 1.6	⑤ 0.5	② 1.9	10.5
6時～24時	▲0.5	▲0.2	▲0.2	▲0.2	▲0.4	▲1.5
プライム	① <b>4.8</b>	④ 2.8	③ 3.1	⑤ 1.4	② 3.2	18.4
19時～23時	▲0.6	▲0.4	▲0.5	▲0.3	▲0.7	▲2.8
ゴールデン	① <b>5.1</b>	④ 2.7	③ 3.1	⑤ 1.5	② 3.2	19.0
19時～22時	▲0.5	▲0.4	▲0.5	▲0.3	▲0.8	▲3.0
ノンプライム	① <b>2.4</b>	④ 1.1	③ 1.2	⑤ 0.3	② 1.5	8.2
全日－プライム	▲0.4	▲0.2	▲0.1	▲0.1	▲0.3	▲1.2
プラチナ	① <b>2.4</b>	② 1.7	④ 1.3	⑤ 0.6	③ 1.6	9.1
23時～25時	▲0.5	▲0.3	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲1.3

左からデジタルチャンネル順／コアターゲット視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ／下段は前年度との差・比較期間2021/1/4(月)～2022/1/2(日)

## ■ 日本テレビは10年連続「コア3冠」を獲得

※コアターゲットは「男女13-49歳」を指す日本テレビオリジナル指標

「クライアントニーズ」が高い、就業就学者にどれだけ支持されているかを示す

## 年末年始 視聴人数ランキング

全国到達人数（推計）：  
1分以上視聴人数  
全国平均視聴人数（推計）：  
番組全体の平均視聴人数

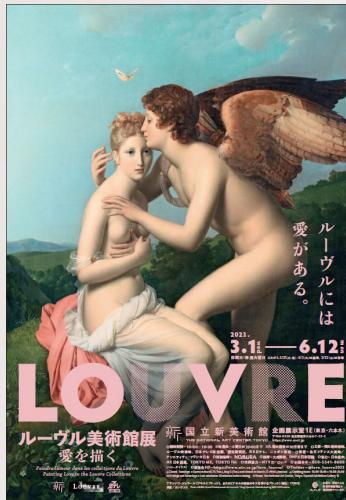
順位	放送日	番組	全国到達人数	全国平均 視聴人数	視聴率（関東・ 個人全体）	分数	局数
1位	2023/01/03	第99回東京箱根間往復大学駅伝競走復路	4764.6万人	1789.7万人	17.9%	388	30
2位	2023/01/02	第99回東京箱根間往復大学駅伝競走往路	4634.2万人	1718.6万人	16.7%	375	30
3位	2022/12/03	日テレ系音楽の祭典ベストアーティスト2022	3472.7万人	1007.4万人	7.5%	234	29
4位	2022/12/28	発表！今年イチバン聴いた歌・年間ミュージックアワード2022	3283.1万人	817.8万人	6.1%	264	29
5位	2023/01/03	ザ！世界仰天ニュース新春5時間SP	3200.1万人	853.4万人	6.0%	234	28
6位	2022/12/25	世界の果てまでイッテQ！3時間SP	3069.7万人	1149.7万人	9.1%	174	30
7位	2022/12/27	ヒューマングルメンタリーオモウまい店4時間SP	3022.3万人	805.9万人	6.5%	234	28

2022/11/28(月)～2023/01/15(日)／個人4才以上／日本テレビのみ／レギュラー番組・単発番組いずれも各回表示(日別最高値)／ビデオリサーチ調べ

- 「第99回箱根駅伝復路」は4700万人以上が視聴。視聴率は往路、復路ともに歴代3位の好結果となり、配信数も前年を大きく上回り“成長”
- 新音楽番組「年間ミュージックアワード」は3200万人以上が視聴
- 各大型番組も3000万人以上が視聴し“地上波テレビのリーチ力”を証明

## 2022年度 注目のコンテンツ戦略

## ●ルーヴル美術館展 愛を描く



3月1日（水）～6月12日（月）国立新美術館  
6月27日（火）～9月24日（日）京都市京セラ美術館

## ルーヴルには愛がある。LOUVREにはLOVEがある

西洋社会における様々な愛の概念が絵画芸術にどのように抽出されてきたのか、ルーヴル美術館の膨大なコレクションから精選された、70点を超える珠玉の絵画を通して浮き彫りにします。名画に宿る多彩な愛のストーリーをその目でお確かめください。満島ひかりさんが“案内人”を務め、音声ガイドも担当します。

## ●羽生結弦 notte stellata

3月10日（金）、11日（土）、12日（日）宮城・セキスイハイムスーパーアリーナ

## 震災の日、ふるさと宮城でアイスショーを開催！

notte stellataはイタリア語で“満天の星”を意味します。3月11日より、絶望感の中で見た美しい満天の星に、彼は希望の光を感じたと言います。あの日の満天の星のように、被災地から希望を発信し、少しでも人々が笑顔になれるきっかけになれば…そんな思いを込めるショーになります。スペシャルゲストに体操の内村航平さん。金メダリスト初の競演にご期待ください。



## 2022年度 注目のコンテンツ戦略



## ●映画事業

- ・2023年3月31日(金)公開 「映画 ネメシス 黄金螺旋の謎」

## 広瀬すず&amp;櫻井翔W主演、江口洋介共演の大人気ドラマが待望の映画化！

2021年4月期日曜ドラマ「ネメシス」は、新時代の探偵物語として、幅広い年代に大好評を博し、総合視聴者数が1,700万人を突破！ドラマでは描くことができなかったスケール感で映画化が決定！今年9月に映画化の情報解禁を行うや、出演者・映画タイトルがTwitterトレンドに軒並みランクイン！ドラマの最終回から1年以上経つも人気の高さは健在！

## ●IPビジネス

- ・「YOSHIKI SUPERSTAR PROJECT X」

グローバルに活躍する音楽界のカリスマ・YOSHIKIがプロデューサーとなり、世界に勝負を挑むネクストスーパースターを発掘するボーカルグループオーディション。

「スッキリ」「行列の出来る相談所」Hulu配信でも話題沸騰。いよいよ、前代未聞のバンドとダンス＆ボーカルが融合したグループが誕生！オーディションを運営してきたVAPからデビューします。

## 2022年度 注目のコンテンツ戦略



## ・ 「0年0組 -アヴちゃんの教室-」

「地獄へようこそ」

新進気鋭のロックバンド「女王蜂」のカリスマボーカル「アヴちゃん」による“スクール型リアリティーショー”ボーカルグループオーディション。日本テレビとスターダストプロモーション、ソニーミュージックによる大型プロジェクト。

◆1/7(土)スタート 毎週土曜25:25~25:55 OA



## ・ 「D.U.N.K. - DANCE UNIVERSE NEVER KILLED -」

「DANCE UNIVERSE NEVER KILLED」というメッセージを掲げ、日本から世界へ、ダンス＆ボーカルシーンに垣根のない新しいカルチャーを作ろうという、SKY-HIをホストにした番組＆イベントプロジェクト。SKY-HIと国内外の人気アーティスト出演予定で話題沸騰。

◆放送：2月1日(水) スタート 毎週水曜24:59~25:29 OA

◆ライブイベント：

DAY①3/5(日)@有明アリーナ DAY②③3/11(土)・12(日)@幕張メッセ展示ホール

## HJホールディングス



### グループ会社

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
2022年度 (4-12月)	24,883	701	703	699



2023年 上半期 Hulu オリジナル

#### ■ Huluストア事業売上が第2四半期に続き絶好調！

\* B'z・NiziU・すとぷり・乃木坂46・櫻坂46・日向坂46・HiGH & LOW感謝祭  
有吉の壁Live・市川團十郎襲名歌舞伎など、幅広いラインナップを実現

#### ■ 「絶対に笑ってはいけないシリーズ」が圧倒的会員獲得に貢献

\* 各種プロモーション施策も奏功、昨年度実績を大きく上回る会員獲得を実現

#### ■ 「2022 ASIA ARTIST AWARDS」独占ライブ配信！記録的大ヒット

\* アジア各国スターが集結した一大イベント。Huluブランディングに大きく貢献

#### ■ 「What's NCT!?」「&TEAM学園」「We NiziU! TV3」など、 人気グループの冠コンテンツが会員獲得に大きく貢献

#### ■ 23年上半年は、期待の大型オリジナルドラマ3作品をローンチ！

##### ①木村拓哉出演！「THE SWARM」3月4日配信スタート

\* 「ゲーム・オブ・スローンズ」プロデューサーが手掛ける超大型海洋サスペンス

##### ②竹内涼真主演！「君と世界が終わる日に Season4」3月19日配信スタート

\* Hulu史上最大ヒットドラマの最新作！シリーズと連動した映画化も決定！

##### ③福士蒼汰出演！「THE HEAD SEASON2」初夏配信予定

\* 世界中でヒットしたサバイバル・スリラー第2弾！今度の舞台は「科学探査船」

## 配信事業：TVer (AVOD)

## TVer 状況

- 配信番組数：600以上（全局総計）
- 再生数：7.83億 UB数：3,566万（3Q 全局全コンテンツ総計）
- アプリダウンロード数累計：5,000万超
- 箱根駅伝、全国高校サッカー選手権大会など大型スポーツ案件のライブ配信

## 日本テレビの取組

ZIP!朝ドラマ  
「クレッシャンドで進め」

10月期のZIP!朝ドラマがスタート  
通勤時間にも楽しめるように、  
毎朝、地上波放送に先駆け、  
TVerで先行配信。  
配信オリジナルも制作



## バラエティ見逃し配信好調！

「月曜から夜ふかし」、  
「King&Princeる。」など  
バラエティ番組の配信が好調。  
「上田と女が吠える夜」では  
毎話、TVerオリジナルを展開



## 「第99回箱根駅伝」

SNS等でのPRを強化し、ライブ配信の再生数は歴代最高。TVerでは本大会＆関連番組の見逃し配信も実施

## 「全国高校サッカー選手権大会」

全国大会と各地区大会決勝の全試合を  
ライブ＆アーカイブ＆ダイジェスト配信

「The W」「笑って年越し」など  
年末の大型番組のリアルタイム配信

大みそかの「笑って年越し」が  
日テレ系リアルタイム配信で歴代1位の再生数、  
UB数を記録

# 新規事業・M&A





## 成長する日テレXR（ミクスタ）事業

XRとは、仮想・複合・拡張現実（AR・VR・MR）などの新技術の総称。テレビ放送で培った技術や演出ノウハウを活用する形で社会課題を解決。スポーツイベントをはじめ、ミクスタサービス利用の契約が増加中。

サービス名称：ミクスタ

### ARアプリ・WebAR

近年主流になりつつあるアプリ不要のブラウザ型ARサービスにも対応。位置情報や天気データと連携させたスマホAR企画などで、ショッピングモール、スポーツイベント、テレビ番組連動企画等を展開。

### 体験型 AR撮影ブース

日本テレビが撮影装置を独自開発。お客様は装置の前に立つだけで、スポーツ選手やタレントと一緒にいるようなAR体験と撮影データの持ち帰りができるため、ファンサービスやプロモーション施策として好評。

### XRコンテンツ開発

XR関連の新規開発や、スマートグラス向けのデモ制作など、用途にあわせて、企画からアプリ開発、コンテンツ制作までを並走しサポート。ヒアリングを通して、コンセプトイメージとXR体験に作り上げます。



## サステナブル投資の展開

中計の戦略的投資領域の1つ、社会に貢献する  
事業への積極的投資「サステナブル投資」

第1弾：2021年10月

**SoundFun**

株式会社 サウンドファン

テレビなどの音声を、  
より聞こえやすい音に  
変換する「ミライス  
ピーカー」を開発・  
製造・販売。  
「聴こえ」の課題を  
解決する音のバリア  
フリーを実現。



# 補足資料



## セグメント別 実績

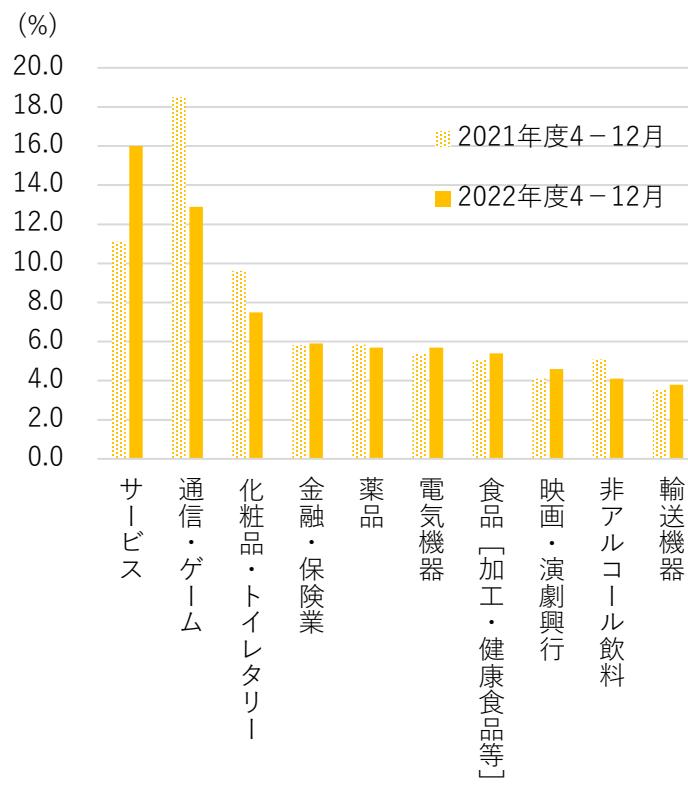
(単位：百万円)

	売上			営業利益		
	2021年度 4-12月	2022年度 4-12月	増減	2021年度 4-12月	2022年度 4-12月	増減
メディア・コンテンツ事業	281,712	283,497	1,784	44,805	33,441	△11,363
生活・健康関連事業	17,003	19,559	2,555	△2,195	△32	2,162
不動産関連事業	7,670	7,868	197	2,907	2,805	△101
連結	306,386	310,924	4,538	45,517	36,215	△9,302

\* 2022年度よりセグメントの一部変更があり、新セグメントに合わせて2021年度を修正しています。

2021年度までの報告セグメント外の「その他」が、2022年度より「メディア・コンテンツ事業」に含まれます。

## スポット業種別

4月－12月スポット業種別売上シェア  
- 地上波 (日本テレビ放送網) -

	2021年度 4-12月			2022年度 4-12月		
		シェア	増減率		シェア	増減率
1	通信・ゲーム	18.5%	28.2%	サービス	16.0%	39.0%
2	サービス	11.1%	64.8%	通信・ゲーム	12.9%	△ 32.8%
3	化粧品・トイレタリー	9.6%	14.9%	化粧品・トイレタリー	7.5%	△ 24.4%
4	薬品	5.8%	9.6%	金融・保険業	5.9%	△ 1.6%
5	金融・保険業	5.8%	68.5%	薬品	5.7%	△ 5.8%
6	電気機器	5.4%	23.1%	電気機器	5.7%	2.2%
7	非アルコール飲料	5.1%	46.5%	食品「加工・健康食品等」	5.4%	2.7%
8	食品「加工・健康食品等」	5.1%	16.1%	映画・演劇興行	4.6%	7.1%
9	映画・演劇興行	4.1%	66.9%	非アルコール飲料	4.1%	△ 22.9%
10	輸送機器	3.5%	△ 21.0%	輸送機器	3.8%	4.3%

注：増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

## 2022年度 映画事業の主なラインナップ①

☆=日テレ主幹事 ★=日テレ共同幹事 ○=日テレ出資作品

公開	作品名	配給	備考	
11/25 (金)	○劇場版 転生したらスライムだった件 紅蓮の絆編	バンダイ ナムコ フィルム ワークス	大人気アニメ初の劇場版！ さえないサラリーマンが事件に巻き込まれ、 スライムに転生、ユニークなスキルを活か して成長、仲間と共に国造りに励む異世界 転生ファンタジー！ ストーリー原案：伏瀬 出演：岡咲美保 内田雄馬 福本莉子 古川慎 木村昴ほか	
12/23 (金)	★かがみの孤城	松竹	本屋大賞を歴代最高得点で受賞した辻村深 月最高傑作！！部屋の鏡をくぐり抜けた先 にあったのは、おとぎ話のようなお城と見 ず知らずの中学生6人が集められていた—— 監督：原恵一 出演：當真あみ 北村匠海 宮崎あおい ほか	

## 2022年度 映画事業の主なラインナップ②

☆=日テレ主幹事 ★=日テレ共同幹事 ○=日テレ出資作品

公開	作品名	配給	備考	
1/27 (金)	☆金の国 水の国	ワーナー ブラザース 映画	「このマンガがすごい（オンナ編）」大賞を史上初めて2年連続受賞の岩本ナオ原作を、世界が注目のマッドハウス制作で初の映画化！長年大きな壁で隔たれ、戦争目前の二つの国。その危機を救う青年と姫のCVを賀来賢人と浜辺美波が熱演。「やさしさ」で溢れる2023年初泣きエンターテインメント。	
3/31 (金)	☆映画 ネメシス 黄金螺旋の謎	ワーナー ブラザース 映画	広瀬すず&櫻井翔W主演、江口洋介共演の人気ドラマが待望の映画化！2021年4月期日曜ドラマ「ネメシス」は、新時代の探偵物語として、幅広い年代に大好評を博し、総合視聴者数が1,700万人を突破！ドラマでは描くことができなかったスケール感で映画化が決定！今年9月に映画化の情報解禁を行うや、出演者・映画タイトルがTwitterトレンドに軒並みランクイン！ドラマの最終回から1年以上経つも人気の高さは健在！	

## 2022年度 イベント事業の主なラインナップ

## イベント

イベント	期間	イベント名	内容
	10月8日(土) ～2023年1月21日(土) ロンドン・バービカン劇場	My Neighbour Totoro 舞台「となりのトトロ」	ついに開幕。“ウェストエンドで最もチケットが 売れている公演”(THE TIMES)と大評判。 宮崎駿監督のアニメーション映画「となりのトトロ」が、イギリスの名門演劇カンパニー、ロイヤル・シェイクスピアカンパニーのバービカン劇場でついに開幕。久石譲の音楽、原作を尊重した世界観、そしてRSCならではの作劇力で観客の心をつかみ、連日万雷の拍手とスタンディングオベーションで迎えられています。
	11月1日(火)～ 2023年2月5日(日) 東京国立近代美術館	大竹伸朗展	現代日本を代表するアーティスト、大竹伸朗の 創作活動を約500点で体感する大回顧展。 大竹伸朗(1955-)は、猛々しい創作意欲でおびただしい数の仕事を手掛け、現代日本を代表するアーティストとして注目を集め続けています。本展ではおよそ500点を展示。作者が「既にそこにあるもの」と呼ぶテーマのもとに半世紀近く持続してきた制作の軌跡を辿ります。
	2023年3月1日(水)～ 6月12日(月) 国立新美術館(六本木)	ルーヴル美術館展 愛を描く	ルーヴルには愛がある。 ルーヴルが誇る珠玉の“愛”的絵画が一堂に！ 長きにわたり協力関係を築いてきた日本テレビとルーヴル美術館。今回は「愛」をテーマに、70点余りの絵画を展示します。2018-2019年にかけて東京・大阪で約70万人を動員した「ルーヴル美術館展 肖像芸術一人は人をどう描いてきたか」に続く本展にご期待ください。

ほかにも沢山の音楽ライブ、舞台、展覧会を準備NEWS」まで

<https://www.ntv.co.jp/event/>